



由布市挾間

青少年健全育成市民会議

あいさつ

由布市挾間青少年健全育成市民会議
会長 枝木 東海

地元である挾間町の良さを再発見する散歩を、旧朴木小学校近隣で行いました。子どもたちの声と元気な姿を地域へ連れて行き、そこに暮らす方々と交流してもらおう企画を今年度も行いました。他所から移住された参加者の方から、この企画を毎年楽しみにして下さっているとの嬉しい言葉を頂きました。

コロナ禍の中、私たちに出来る事は何だろう？そんな想いで様々な事を企画し、皆様との繋がりを大切に活動しています。キーワードは『加勢』、大分弁では「かっせろうか」「かっせちよくれ」こんな優しく、思いやりのある言葉を懐かしく感じています。子どもたちが健全に育つには、そんな地域の皆様の豊かな愛情が欠かせません。褒めたり叱ったり、言葉の交流も大切だと改めて感じました。

これからも、ここに住み暮らす子どもたちを大人のやさしい目で見守って頂けます様をお願い申し上げます。厳しく光る優しい目もあります。よその子もうちの子、他人の幸せが自分を幸せにする。そんな事が、自分たちが生きる社会全体で感じられたら、それはきっと幸せの証ではないでしょうか。

防災講演会

令和4年7月31日(日)開催

命を守る防災講演会を開催しました。昨年に引き続き挾間在住の、花宮廣務さんを講師に迎え「まさか」が「またか」。毎年のように豪雨災害はどうして起きるのか？逃げる時に一番に大切な物は？今一度「災害への備え」の必要性を意識付けられました。由布市の防災危機管理課の職員からは、ハザードマップや避難所、市の備蓄状況などの災害対策について説明を受けました。実際の避難所を想定したプライバシーシートや簡易仕切り板に、参加した皆さんは関心を持たれていました。そして消防士さんによるロープワーク（結び方）講習もあり、日頃結んだことのないロープに皆さん悪戦苦闘していました。今年度はこれまでにない参加人数の多さで、皆さんの防災意識の高さを感じられました。



挾間まちウォーク

令和4年11月12日(土)開催

「挾間まちウォーキング in ほおのき」を開催しました。ウォーキングは今回で3回目。児童、保護者、ジュニアリーダーなど、43名の参加がありました。

スタート・ゴールは由布川峡谷入口で、朴木公民館へ向かい、帰りは違うルートを歩きました。往復約4kmの道のりでした。折り返し地点の公民館では、地元「朴葉の会」により、手作りのおやつが振る舞われ、交流を深めました。

普段子ども声をあまり聞かない地域に、子どもたちの元気な声が響きました。稲刈りも終わり、深まる秋を身体いっぱいに感じたウォーキングとなりました。



あいさつ運動

令和4年11月18日(金)実施

コロナ禍の中、大分県から、今年度も県民会議主催の「全県一斉挨拶運動」を中止とするが、地域ごとの活動は感染対策を講じ、11月18日を「県民運動一斉行動日」とし諸活動を実施してほしいとの協力依頼がありました。

そこで、私たち市民会議は、一斉行動日にあいさつ運動を実施することにしました。早朝の向之原駅前では、出勤や登校の皆さまと挨拶を交わしました。その後、各小中学校に分散し、児童・生徒の登校時刻に合わせてあいさつ運動を実施しました。

今回のあいさつ運動では、各小中学校の先生方・挾間青少年補導委員会の皆様、地域からは、谷むらづくり協議会・由布川小学校運営協議会の方々にご協力頂きました。ありがとうございました。



はさまっ子スキー教室（後援事業）

令和5年1月22日(日)開催

挾間町子ども会育成会連絡協議会の事業として、小学5・6年生を対象に、くじゅう森林公園スキー場で「スキー教室」が開催されました。募集により、16名（5年生9名、6年生7名）の参加がありました。

始めてスキーをする子も多く、不安そうな顔をしていた子どもたちも、普段あまり見ない一面に積もった雪を見て、いつの間にか笑顔でスキーや雪遊びを楽しむことができたようです。

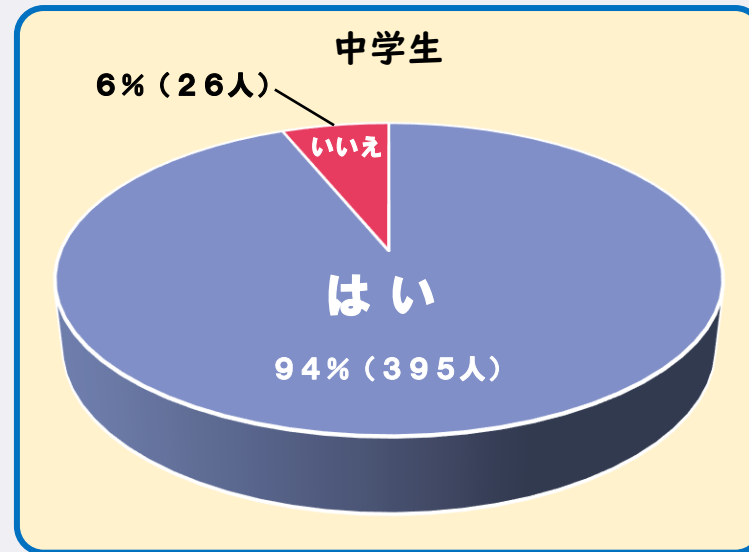
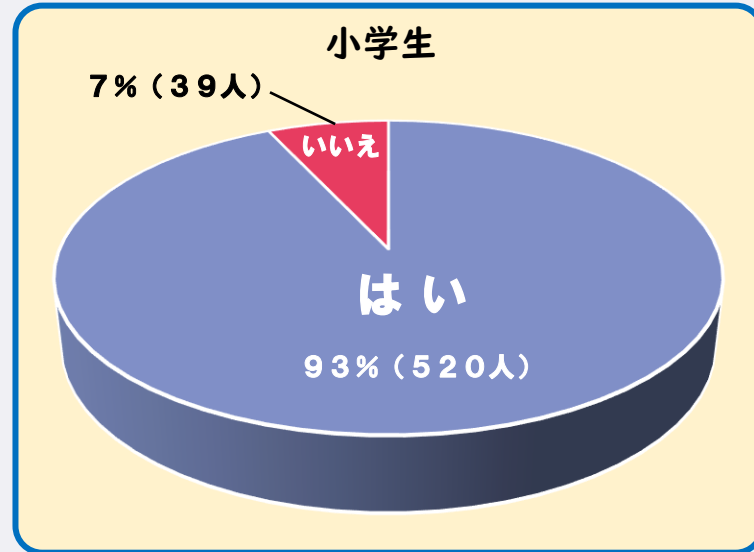
参加した子どもたちの感想としては、「初めてのスキーで、すべることが出来るかどうか不安だったけど、止まり方やターンのやり方を習い、とても楽しくすべることができた。今度は家族と一緒にいきたい。」などがありました。



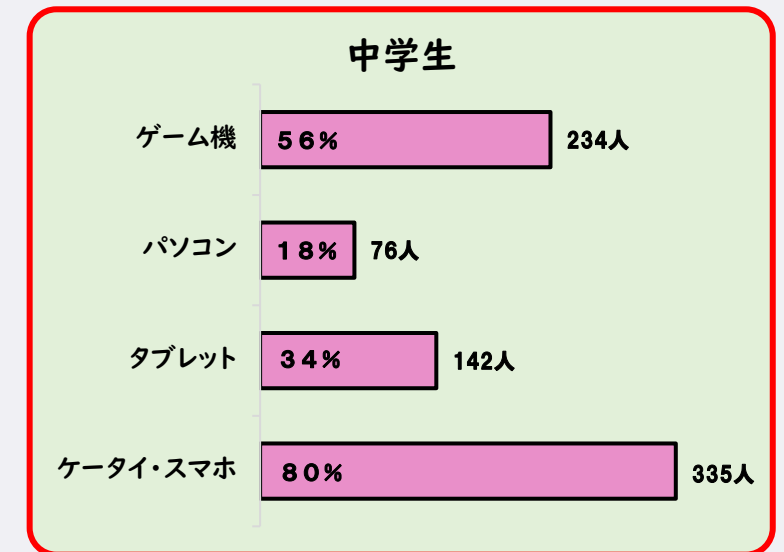
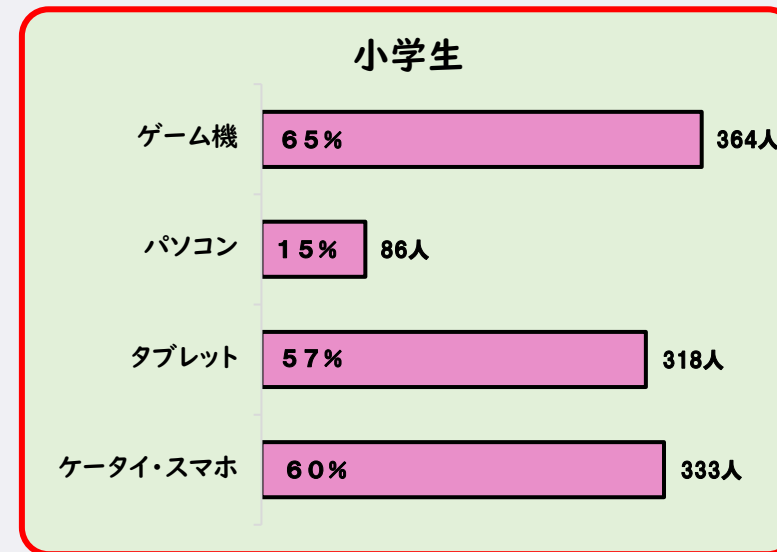
挟間地域 児童・生徒への情報モラルアンケート（2022年度）

今回、皆さんにお伝えするアンケートの内容は、昨年に引き続き学校が実施した「ケータイ・スマートフォンやタブレットなどの利用に関するアンケート」で、SNSに起因する意識調査となっております。実施対象者は由布市内の全小・中学生ですが、挟間地域を抜粋して掲載しております。通信機器使用時の子どもとの約束ごとや、ブルーライトによる視力の低下など、どれも子どもだけに求める問題ではありません。大人が守るべきルールと子どもが守るべきルールを家庭内でしっかりと明確化していくことが実践の第一歩なのではないかと思っています。結果は以下のとおりです。（Q7、Q8はフリーコメントを抜粋して掲載） ※ 実施時期：2022年11月 ※ 回答総数：980人（小学4年生～6年生：559人・中学1年生～3年生：421人）

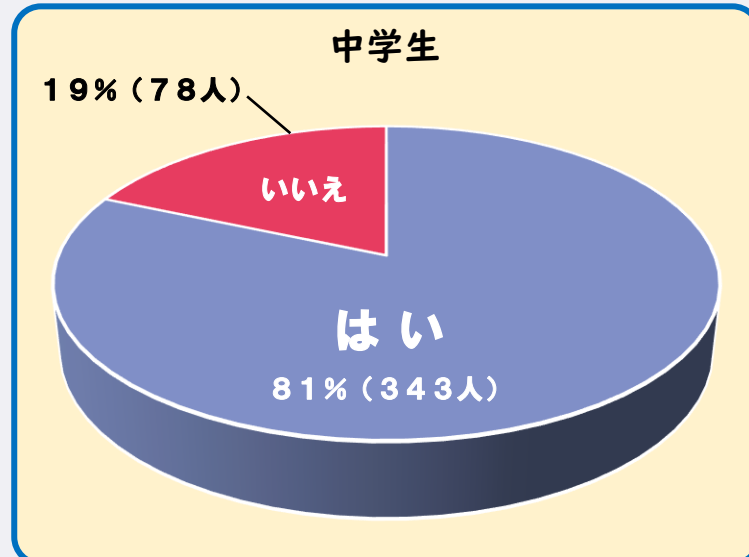
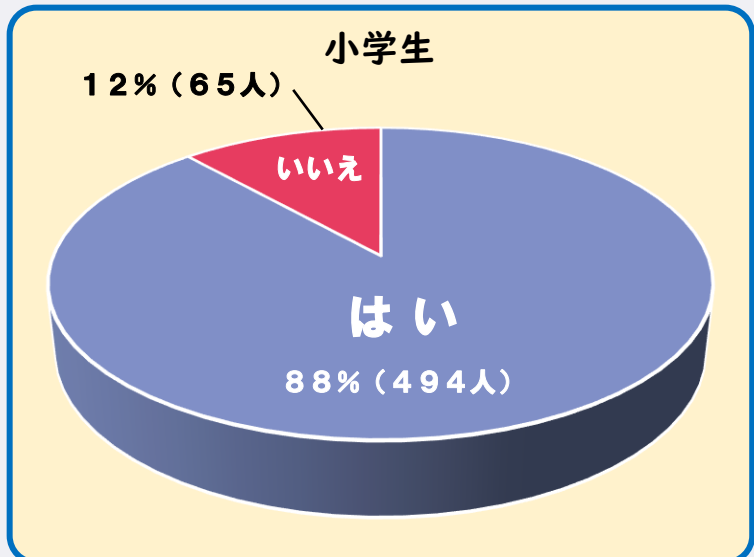
Q1. 学校以外でケータイ・スマートフォンやタブレットなどを使っていますか？



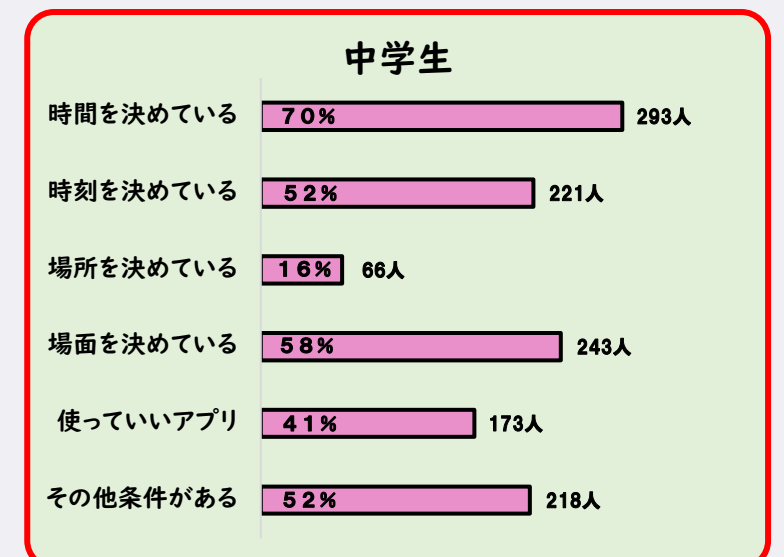
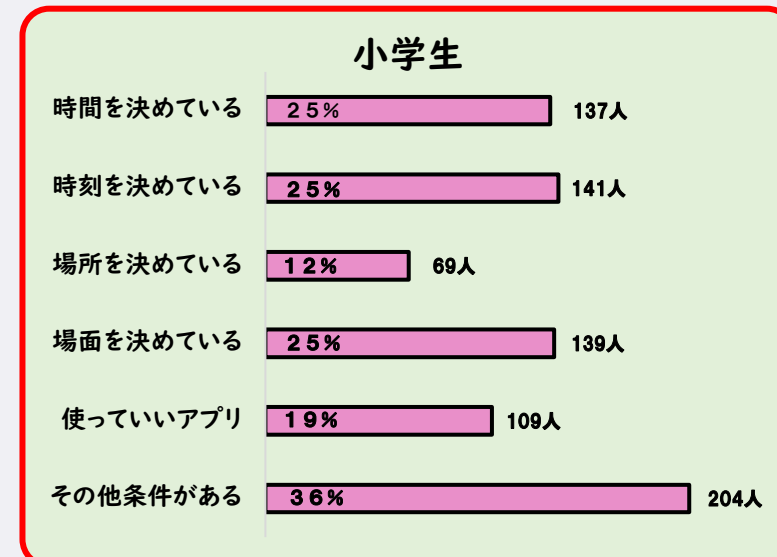
Q2. 何を使っていますか？（複数回答）



Q3. ケータイ・スマートフォンやタブレットなどを使う上で、お家の人と約束をしていますか？



Q4. お家の人との約束はどんな約束ですか？（複数回答）



Q5. 使う上で、自分で気をつけていることはありますか？（複数回答）

学生区分/項目	分からない事は大人に相談	分からない事は友達等に聞く	使いすぎなど時間を決める	悪口を書かない	うその情報がないか疑う	課金はしない	知らない人の誘いにのらない	目が悪くならないようにする	寝不足にならないようにする
小学生	227人	137人	228人	286人	223人	276人	227人	175人	226人
	41%	25%	41%	51%	40%	49%	41%	31%	40%
中学生	370人	181人	315人	349人	245人	354人	297人	306人	302人
	88%	43%	75%	83%	58%	84%	71%	73%	72%

Q6. インターネットの使い方をどこで（誰に）学びましたか？（複数回答）

学生区分/項目	学校	親	兄弟姉妹	友だち	テレビやネット	自分自身
小学生	230人	227人	89人	102人	151人	55人
	41%	41%	16%	18%	27%	10%
中学生	276人	339人	117人	95人	156人	73人
	66%	81%	28%	23%	37%	17%

Q7. スマホやタブレットについて「いいなあ」「便利だなあ」と思うこと

- 好きな動画がいつでもどこでも見れることや、いろんな人とゲームを一緒にできること。
- 辞書よりもすぐに調べられることや、一つのタブレットで色々出来ること。
- 親が仕事に行っている時に困ったことがあったら、相談できること。
- 学校について困った時に、いつでも友達に聞いて便利なこと。
- 他のクラスの人や先輩と直接だとあまり話せないけどDMやLINEだと気軽に話せること。
- 他の人の意見を見たりできること（ロイロノート）や、自分以外の人撮った写真などをもらえること。
- 流行りのものなどの情報が入りやすいこと。
- みんなとやり取りできること。
- 同じ境遇の人と話せること。

Q8. スマホやインターネットを使う上で、「これはいやだな」「やめてほしい」「こうなればいいのに」と思うこと

- 自分が誰か分からないからといって悪口を書いたり、自分の感情を人に押し付けたりするのはやめてほしい。
- ネットの友達などを装って個人情報などを抜き取る人がいなくなったらいい。
- YouTubeなどでのコメントで迷惑なものがあり、不快に思う人もいると思うのでやめてほしい。
- 嘘の情報や、場に合わない不適切なCMが表示されること。
- 課金や知らない人との通信や知らない人と遊ぶこと。
- アンチコメント、人を不快にさせる行動。
- TikTokなどで、変な動画や怖い動画が流れてくること。
- 寝不足になること。
- 暴言を吐く人がいること。
- ワンクリック詐欺や詐欺広告。